

# 江差町議会だより

■発行・北海道江差町議会  
■編集・議会広報特別委員会  
〒043-8560  
北海道檜山郡江差町字中歌町193番地の1  
☎[0139] 52-6713 (直通)



## 小学校生活の始まりです！

小中一貫教育が行われている江差北小学校で入学式が行われ、8人の新1年生が入学しました。式では、6年生と手をつなぎながら入場しました。先生に名前を呼ばれると、緊張しながらも元気よく返事をし、真剣に校長先生の話聞いていました。

## 平成27年 3月議会

—もくじ—

- ◇平成27年度予算について・・・・・・・・・・2～3P
- ◇平成27年度予算質疑・・・・・・・・・・4～5P
- ◇その他審議、意見書・・・・・・・・・・6P
- ◇一般質問・・・・・・・・・・7～12P
- ◇行政報告、功労表彰・・・・・・・・・・13P
- ◇平成26年度補正予算・・・・・・・・・・14～15P
- ◇全員協議会、議会の動き・・・・・・・・・・16P

## 6名の議員が一般質問 平成27年度予算を審議

平成27年3月定例会が3月10日から12日までの会期で行われ、平成27年度各会計予算、条例の制定や改正、予算補正など提案された案件を審議し、原案どおり可決しました。

また、6人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。



**27年度予算決まる**  
**一般会計50億4,026万円**

**6年ぶり**

**50億円の大台へ**  
**全会一致で可決**



### 3月定例会のあらまし

3月定例会が3月10日から12日までの3日間の会期で開催されました。

第1日目に、行政報告、報告1件、子育て応援基金の設置や各会計補正予算議案5件を審議し、町政執行方針、教育行政執行方針の表明がありました。また、6人の議員による一般質問を行い、地域福祉や宿泊対策等を取り上げ、町政をただしました。その後、各課による予算審議に入りました。

第2日目は、1日目に引き続き各課による予算審議が終日行われ、各議員から予算に対する考え方や方針について質疑しました。

第3日目は、2日目に引き続き各課による予算審議後、各会計予算の討論・採決が行われました。各会計予算は全会一致で可決。予算可決後、予算関連議案、国の交付金事業に伴う補正予算案、課の設置条例、固定資産評価審査委員の選任同意、意見書6件を可決し、閉会しました。

### 予算編成における4つの重点施策

1. 少子化対策の充実
2. 地域の将来を支える  
人材の育成・確保
3. 地域の魅力の向上
4. 旧江光ビル解体とそれを  
契機とした商店街活性化



### 平成27年度江差町全会計の当初予算額

会計名	当初予算額	対前年比(%)
一般会計	50億4,025万6千円	6.16
国民健康保険費特別会計	11億6,668万9千円	10.66
後期高齢者医療特別会計	1億1,539万6千円	▲2.06
介護保険特別会計	10億669万7千円	3.32
公共下水道事業特別会計	2億5,437万9千円	5.07
公設地方卸売市場事業特別会計	61万9千円	▲13.91
港湾整備事業特別会計	196万円	▲7.11
奨学金特別会計	603万7千円	▲20.82
(企業会計)水道事業会計	6億7,460万1千円	0.40
当初予算の総額	82億6,663万4千円	5.73



# 27年度事業 ピックアップ

## 地域の魅力の向上

### ◇漁業経営基盤安定対策 1,200万円

漁船保険掛金の助成及び漁具等整備費の助成を行い漁業経営の基盤安定を図る。

### ◇農業経営基盤安定対策 950万円

農業共済掛金の助成及び農機具等購入の助成を行い農業経営の基盤安定を図る。

### ◇ふるさと応援寄附金対策 790万円

特典の創設等を行い、寄附者の増加と町の特産品の周知を図る。

※ふるさと寄附金（ふるさと納税）は、自治体への寄附金で個人が2,000円を超える寄付を行うと一定の上限まで原則として所得税、住民税から控除される。全国的に、寄附を一定額以上行うことで特典を設けている自治体が多い。

## 旧江光ビルの解体とそれを契機とした商店街活性化

### ◇旧江光ビル解体等 340万円

解体に向けた調査、設計費の補助等。

### ◇商店街街灯LED化推進 1,030万円

中央商店街、法華寺通り商店街、愛宕商店街の街灯LED化補助。

## その他の主な新規事業

### ◇かもめ島海上遊歩道側壁崩落等改修 980万円

海上遊歩道の側壁崩落に伴う遊歩道の新設、落石対策等。



## 少子化対策の充実

### ◇子育て応援券交付事業 510万円



0歳児、1歳児を対象に紙オムツ等の購入に使える子育て応援券を交付する。

## 地域の将来を支える人材の育成・確保

### ◇地域おこし協力隊配置 730万円

国の制度を活用し、大都市圏から募集配置することで地域力の維持・強化を図る。

### ◇英語指導助手（ALT）配置 500万円

小学校での英語教育により、国際感覚豊かな人材育成のため配置します。

※英語指導助手（ALT）は、日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える役割を果たす。給与は受け入れ側が負担する。

### ◇江差中学校の改築に係るグラウンド整備等 2億1,250万円

旧校舎の解体と校舎跡地でのグラウンド整備を行う。

### ◇高規格救急車購入（檜山広域行政組合負担金） 2,620万円

救急車の老朽化に伴い高規格救急車の整備を行う。

# について審議しました！

限られた財源の中で、どのように財政運営が行われるか。本会議場での予算案への質疑について、その一部を要約して紹介します！

## 政策推進

**Q** 地域おこし協力隊の募集方法、どこまで望むのか。

**A** 募集は1年。いい人材であれば3年間継続したい。募集は、移住交流促進機構及び町のホームページ等で広く募集をしていきたい。地域活動をしていく中で最終的には江差に移住してもらいたい。



**Q** 江差風力発電所の訴訟問題は怎么样了のか。

**A** 訴訟になっているのは町長の行政報告のとおり。しかるべき時期に詳細を説明したい。

## 公共施設等総合管理計画

**Q** 公共施設等総合管理計画は町づくりにも連動する。今後のスケジュール等は。

**A** 国の交付金を受け策定することになる。計画は公営のものが網羅された形となる。計画は、町づくり推進や市街地活性化等と一緒に考えていきたい。

## 国民健康保険

**Q** 国民健康保険の財政調整基金を処分しても不足する。来年度以降どうするのか。

**A** 国民健康保険は、過年度の精算やその年に大きく負担をしなければいけない経費が出てきた場合に、色々な形でそれを埋め戻すような交付金が下りてくる仕組みになっている。保険料率を改定する等のことも検討しているが、今年1年かけて整理し考えていきたい。

## 農業・港湾

**Q** 漁業経営基盤安定対策事業の内容及び継続していく事業なのか。

**A** 様々な購入形態を制度設計したい。漁協を経由することで経営安定に寄与していきたい。事業は5年間を目途にやっていきたい。

**Q** かもめ島等も含めた港湾整備計画。まちづくり計画の一環として考えるべきでは。

**A** 地方の港湾整備にまで予算が回らない状況がある。港湾整備計画の見直しは今年度予定しているが、港湾利用者等の意見を聞きながら、今の実態に合わせ、できることからやっていきたい。

## 健康推進

**Q** 訪問看護ステーションの運営、24時間体制、町独自の対策は。

**A** 近隣町共同で運営している。看護師対策は難しい課題。なかなか充足するだけの看護師確保になっていない。24時間体制を維持できない状況があり、できるだけ近隣町で確保できるよう積極的に要請はしていきたい。



## 町営住宅

**Q** 長寿命化計画に基づき、円山第3住宅等の町営住宅の建替えについて具体的な調査検討は。

**A** 今は現地建替えでなく候補地を探しながら検討している。その場所が決定次第、建替計画を策定しながら順次進めていきたいと考えている。



円山第3団地

## 水 道

**Q** 水道事業ビジョンに基づいた施設の統廃合について方向性は。

**A** 安全で安心な水道水を供給するため、これからの水道経営も含めた水道ビジョンとなっている。今後を見据えた施設の統廃合、広域化等も必要だと考えているものの、他自治体との協議もあり、早期に検討を進めていきたいと考えている。水道ビジョンは平成27年度に配布したいと考えている。



## 江差追分・観光

**Q** 追分大会で毎年宿泊施設が無く苦慮している。一定の条件を付けて宿泊できるよう施設を活用できないか。

**A** 旅館業法、消防法等に抵触しない方法で、民間からの協力も得ながら運営している現状。解決策は無いような状況にある。何かいい案があれば助言頂きたい。

## 文化財施設

**Q** 中村家、旧檜山爾志郡役所の冬季休業明け開館時期について、3月開館を2月に早められないのか。

**A** 新幹線開業に合わせ開館する予定。2か月の休業期間として計上している。2月の開館は背景等は理解するものの、この後内部で、開陽丸等の他の施設と検討し、前向きに考えていきたい。

**Q** 中村家、旧檜山爾志郡役所の観覧料について、高齢者が多く訪れている現状があり、高齢者の無料化を再検討するべきでは。フリーパスを過去発行したことがあったと思うが利用状況等はどうか。

**A** 高齢者の無料化については、平成22年から行っている。まだ4年目ということで様子を見ながら、当面はこのままでいきたい。フリーパスについて、現状持っている人は少なく、利用している実態は現場から聞いていない。



## その他審議内容

3月定例会では、次の内容を審議、可決しました。

- ・教育委員会に関する事務の管理・執行状況の点検・評価報告
- ・子育て応援基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定
- ・平成27年度国民健康保険事業会計財政調整基金の処分
- ・職員の給与に関する条例の一部改正
- ・手数料条例の一部改正
- ・町立保育所条例の一部改正
- ・指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定
- ・包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定
- ・介護保険条例の一部改正
- ・ぬくもり保養センター設置条例の一部改正
- ・公共下水道条例の一部改正
- ・教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定
- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理
- ・指定管理者の指定（漁村センター・マリナ・漁船等上架施設・老番蔵）
- ・過疎地域自立促進市町村計画の変更
- ・課設置条例の全部改正
- ・課設置条例の全部改正に伴う関係条例の整理
- ・固定資産評価審査委員の選任

阿部世津子氏（新任）



# 六議員が町政を問う 一般質問

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

### ◆質疑は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

### ◆表示の説明◆

文中の再、再再はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

## 意見書を提出

3月定例会では6件の意見書を提出、可決し、関係行政機関へ提出しました。

- ◆ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書
- ◆農業の発展に必要な生産基盤整備の拡充を求める意見書
- ◆ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書
- ◆都市農業の振興策強化等を求める意見書
- ◆「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」構築への取り組みを求める意見書
- ◆憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回と関連法「改正」反対を求める意見書

# 「無戸籍、無住民登録について」

町長 該当なしで報告している

折戸 幸博議員（無会派）

全国に戸籍がない方が279人いる結果が出ています。ただ、回答あったのは全国の1割となっている。戸籍と住民票は、総務省と法務省という二つに関連してくるところであり、共通しているのは正規な行政サービスを受けることができないこと。そのため生活に関して支障を受けている事例が出ています。

この調査に対し江差町では回答したのか。回答したとしたらどのような回答をしたのか。また、住民票管轄の総務省について、2008年7月にこの戸籍が無い方でも住民サービスを受けられるように、ある一定の条件を基に自治体の

裁量で住民票を発行するように通知したとなっている。例えば住民票が無い、戸籍が無い方に関して、何らかの検討がされたかどうか。

全国的に無戸籍のため結婚や就職で不利になるケースが相次ぎ、昨年7月に無戸籍者の実態調査を法務省が実施し、照会を受けたが、本町における無戸籍者の取扱は該当なしで報告している。平成20年7月7日付けで出生届の提出に至らない子にかかる住民票の記載について、総務省

自治行政局市町村課長名で都道府県住民基本台帳事務担当部長宛での通知があった。これは認知調停などの手続きが進めら

れているなど、将来的に戸籍の記載が行われる可能性が高いと認められる場合に、市区町村の判断により職権で住民票の記載を行うことができるというものだが、民法第772条の嫡出推定制度や無戸籍児を戸籍に記載するといった法的にも複雑な手続きとなる。住民票の取得や児童手当の申請等でそのようなケースが判明した場合、所管の法務局と連絡を取り、対応したいと考えている。

再 この実態を把握するのはかなり難しい。DV等で登録しない事例も多いと聞いている。町が

単独で調べることは大変だと思いが、町内会や住民から情報を得る方法、また横の連携、バックアップ体制を作っていくかなければならないと思うが如何か。

町民福祉課長 該当の

方については今までのところは無かった状況にある。各種サービスが受けられないとか、住民票が無くて困るような結婚、そういう状況があるため、戸籍担当の部署だけでは、なかなか解決はできない。関係各課及び法務局と連携を取りながら進めていきたい。

町内会の方に情報を提供することに関し、プライバシーの保護の問題から、慎重に検討させて頂きたい。

再 町内会に情報を提供するというより、町内会に情報を提供しても

副町長 町長、担当課長が言った通りであるが、まだ事例は具体的にないが、情報収集、そうした形で行わなければならないと思っ



4月1日の役場組織機構改革により「住民おもてなし係」となった町民福祉課の受付窓口。住民票発行や戸籍事務等の各種申請の受付業務、取り次ぎ等を行っている。

## 「特別養護老人ホームの入所について」

町長 意見を頂いた上で素案を作成する

小野寺 真 議員（日本共産党）

4月から入所が原則要介護3以上の方に限定され、やむを得ない場合、要介護1、2でも認められる。関係自治体や団体等と協議し一定の指針を作りなさいとなっているが、町の今の状況は。

町長 特例的に入所が認められる指針については、国で示している指針に基づき、町で素案を作成し、円滑な運用を図る観点から近隣町、介護老人福祉施設、介護支援専門員等と協議し意見を頂いた上で作成することを取り進めている。

再 どのように作ろう



特別養護老人ホームえさし荘では様々な事業が行われている。  
 (上) 年2回程行われているドッグセラピー。癒し効果により入荘者が笑顔に。  
 (下) 昨年秋季に実施された江差高等看護学院生の研修のようす。3人の学生が1ヵ月半研修を行った。

としているのか。ルール作り、スケジュールは。

健康推進課長 指針の素案を現在作っている。町がリーダーシップをとり意見をもらいながら進めていこうと考えている。3月中には指針を完成したい。

再 策定委員会で特別養護老人ホームの制限、要介護1、2の方が入れない、受け皿をどうするのか等論議あったのか。

健康推進課長 国の指針を基本としてやっていきたい。

町長 策定委員会で特別養護老人ホームの制限、要介護1、2の方が入れない、受け皿をどうするのか等論議あったのか。

町に介護施設がたくさんある。適切な施設に入所できるよう相談に乗ってきている。

策定委員会は十分意見を頂いたと思っている。3年間の検証も引き続きお願いしている。

## 「配食・会食・移送サービスについて」

地域の実態は。町の具体的な支援策は。

町長 配食は2法人、会食は1法人1団体、移送は一定の要件で複数の事業者において福祉有償運送が行われている。地域の団体や事業者の皆さんが助け合いで取り組んでおり、改めて敬意を表する。

高齢者の支援を効果的に実施していくため、行政と地域の助け合いが必要不可欠。生活支援サービスの方向付けは改めてしっかりと検討していきたい。

再 たった2人という実態を改善して、住民の要望に合った配食サービスを考えているのか。

町民福祉課長 週2回のシルバースービスの中で実施しているが、今は1名と少ない状況。どの程度支援するか等煮詰まっていない部分がある。

り、今後2年かけて検討したい。

再 策定委員会で、実態をみて何とかしなければならぬという論議が全く無かったのか。

町民福祉課長 1年、2年でも早く検討していきたい。

## 「地域支援事業での社会福祉協議会のあり方について」

社会福祉協議会と一緒に進める相談等してきたか。もしくはどのように進めようとしているのか。

町長 地域福祉を推進する立場である社会福祉協議会と共に取り組むことが重要。町は一昨年から社協と現在停滞している福祉事業の推進について議論を重ね、互いに当該事業の重要性を認識し、協力していくこととしている。

再 地域支援事業のサービスを社協が一定程度中心になることだあってあり得る。それをどう運営していくか所見を伺いたい。

健康推進課長 社協が色々な事業構築の担い手になるべきと思っっている。今後は包括支援センター、社協、福祉と連携

し進められ、29年度からのスタートになる。

## 「ゴミの分別収集について」

粗大ゴミ、資源ゴミを自治体で回収すべきでは（民間委託等）。

町長 粗大ゴミの収集について近隣町の状況を踏まえて今後の検討したい。資源ゴミの回収について、環境保護、リサイクルの観点から必要があり、今後の検討課題としたい。

再 資源ゴミはそれぞれの町村でやっているところが多い。検討したところがあるのか。

環境住宅課長 粗大ゴミ、資源ゴミの収集全般について検討する大きな課題だと認識している。当面は現状の中で町内会等にお願ひしながら、やって頂きたい。最終的には、広域的な課題と想っており、処理組合に対しても意見反映をしていきたい。

再 町内会が届かないところの粗大ゴミの回収等について、何らかの形で手を尽くすべき。

環境住宅課長 27年度中に粗大ゴミの収集体制も含めて、どうするか議論し、検討していきたい。

## 「宿泊施設に対する施設整備支援・誘致について」

**町長** 助成等の施策を実施したい

萩原 徹 議員（政友会）

どのような誘致対策を行っているのか。

改修等に対する財政的な支援はどうか。

**町長** 昨年12月に既存施設の改修ニーズについてアンケート、聞き取り調査を実施し、宿泊施設の多くは老朽化が激しく、宿泊客の減少により経営が圧迫され、改修したいが資金不足等が理由で改修できずにいる等施設の維持に苦慮していることが明らかになった。

併せて宿泊客の朝食等に対する町内特産食材の提供・支援を行い、魅力ある宿の創出、宿泊客の増による地域の活性化を図りたい。

**再** 土地等の売り込みや、町外で経営しているホテル等に誘致を行っているのか。

**再** 追分商工観光課長 具体的に宿泊施設のみに向けてということはしていない。町有地の有効活用で、売却含め取り組みをしている。

**再** 旅館業に限らず、町の企業、商店街を含め全体的に後継者問題があるが、何か考えはあるか。

**追分商工観光課長** 経営がある程度好転しなければ後継の方自体がここに残らず、外に出てしまう傾向がある。宿泊施設に限

ると、まずは既存の宿泊施設のお客さんを増やすことを考えていきたい。提案をし、ご理解を頂き、支援していきたい。

「ドラマや映画ロケ地誘致の推進について」

誘致活動を行っているのか。

また、ドラマや映画に対して何か構想を持っているのか。

**町長** 町内には自然や街なみ、各種文化財等多くのロケーションが存在し、ロケーションとして採用された場合は、地域のPR効果も非常に大きいと考えている。現在は、はこだてフィルムコミッションにこれらのロケーションを登録し、全国に向け情報発信を行うほか、町や観光コンベンション協会のホームページにも観光スポットとして多くの写真を掲載する等している。これらの情報を基に問い合わせがあった場合は、相手先が求めるイメージに沿って保有している情報を提供し、撮影が決まった場合には撮影に係る許可関連の確認やスタッフの宿泊、飲食業者の紹介、エキストラの手配等スムーズな撮影に向けた協力をしている。今後は更なるロケ地誘致に向け、町内関連団体と協議し、江差町単独のフィルムコミッションの立ち上げに向けて準備を進めたいと考えている。

パンフレットを作り、映画関係者に送って見てもらう。また、売り込みを積極的に行っている。

**追分商工観光課長**

パンフレットの作成は、現在のところ予定していないが、そういう方法が有効だという状況が把握できれば、改めて作成に向けた取組を検討していきたい。



はこだてフィルムコミッションのロケーションスポットに登録されている「姥神大神宮渡御祭」と「いにしえ街道」。はこだてフィルムコミッションは、撮影者にロケ地情報の提供や各種申請のサポートを行っている。

## 「地域医療について」

**町長** 病院機能の充実に取り組んでいく

小林 栄治 議員（日本共産党）

道立病院への地域支援のあり方について。道立病院の安定的な発展のために各地の取り組みに学ぶ必要がある。地元江差町として支援等どう考えているのか。

**町長** 診療スタッフの問題で診療体制が十分とは言えない状況があり、看護師不足により病床数を減じて運営している等課題は多い。次年度以降も医師、看護師確保に向けた町の貸付金制度の推進、南部檜山各町と連携し病院機能の充実に取り組んでいく。また、近年地域の医療を守る活動が各地で行われている。道立江差病院でも院内、院外でのボランティア活動等を含めた地域支援活動が出来ないか関係機関と引き続き検討していく。

**再** 管内町村に支援、応援をしてくれないか等の要請はあるのか。

**健康推進課長** 振興局と協議している。南檜山の医療と福祉を考える草

の根の会が既にあり、一定の成果（小児科のコンビニ受診の抑制等）を上げていく。そういった団体とも連携を図りたい。

**再** この地域において、江差訪問看護ステーション、総合在宅ケア事業団が訪問看護に取り組んでいるが、24時間体制になっていない。医療と介護を連携する上でも訪問看護のあり方は重要だが、町長の見解は。

また予算でも助成金という形で出ているが、強化については如何か。

**健康推進課長** 訪問看護ステーションは70万の

助成金を出している。平成9年からスタートし大変な力を発揮している。24時間看護は26年7月に取り下げた経緯があり、人材確保にはかなり苦労している。

## 「看護師等専門職の養成について」

地元で働く専門職の確保が困難な状況となっている。地元で若者が働く場としての医療、福祉分野を捉えたとき、看護師だけでなく広くセラピストや介護福祉士等、介護職の地元誘導策としての修学支援のあり方は若者の雇用の場の確保として町づくりの要素と考えられるが如何か。

**町長** 道立江差病院では、慢性的に看護師不足が続いており、資金制度による充足には時間がかかる。看護師養成修学資金は、看護師確保対策と共に定住化対策にも力点

を入れており、この4月に2人の看護師が町の住民となる。近年、福祉、介護分野では労働環境や労働賃金等から若者が敬遠されがちな分野であり、介護保険事業や福祉事業を推進していくためにも専門職等の人的資源の確保は重要なテーマである。有資格者を町内外から確保していくことが、雇用の場の確保と定住対策になると考え、行政としても医療、介護分野における専門職の確保について改めて検討していきたい。

**再** 南檜山保健医療福祉圏域連携推進会議の中で、江差高等看護学院について、地元推薦の受験生をとってもらえない、定員割れでも2次募集しない等意見が出された。他町と一緒に問題解決に繋いでいくべきだが、町長はご存知か。

**健康推進課長** 2次募集等かけていない実態は



北海道立江差高等看護学院

道にも伝えており、関係各町と合同の要請行動でもそのことが話題になった。皆さんが期待している地元高校からの枠を頂きたいということは申し上げてきている。何とかそのような形で頂ければ有難いと思っております。

**「国への懸案事業の要請について」**  
**町長 協議を重ねながら国に要請していく**

室井 正行議員（政友会）

かもめ島急カーブ解消  
 として開発用地規制の課題がある。交差点改良の課題と並行し、いにしえ街道とかもめ島との連動性が損なわれている。このエリアは重要な観光拠点であり、一体的な整備の必要性は十分認識している。国道急カーブの拡幅に向け、関係機関、事務レベルによる協議をはじめ、事前協議を重ねながら国に要請していく。また、事業メニュー化についてもどのような整備

かもめ島入口は急カーブになっており、観光拠点の出入口としては危険ということで交差点改良の方策を関係機関に要請してきた経緯がある。南埠頭も港湾用地

かもめ島入口は急カーブになっており、観光拠点の出入口としては危険ということで交差点改良の方策を関係機関に要請してきた経緯がある。南埠頭も港湾用地

かもめ島入口は急カーブになっており、観光拠点の出入口としては危険ということで交差点改良の方策を関係機関に要請してきた経緯がある。南埠頭も港湾用地



かもめ島入口の急カーブ。いにしえ街道から国道へ出る際、カーブミラーが設置されているものの、急カーブのため見通しが悪い。いにしえ街道の出発地点として活用が期待される。

が必要なのか整理を行い、基本調査の必要性についても検討していきたい。

**再** 調査費をつけ、外部の専門の方も入れて検討してもらいたい。

**政策推進課長** 町の重要拠点であり、何らかの形で議論になると考えている。

**再** 国に要請するために、こういうビジョンを持っていて、物を作らなければ出来ないのではないか。

**副町長** 説得力のあるものを検討したい。

**「空家再生等推進事業と江差町の取り組みについて」**

壊すだけで終わる事業、再生し移住対策と若者対策用に活用、民間も同じ。調査費の助成制度がある。江差町は今年からやらなければならぬ。調査は1回しているが、これを地図に分布してどう対応するか、スケジュールを組んでおく必要があると思うが。

**町長** 平成24年度に実

施した町内の空家調査の結果では、230件の空き家が存在し、さらに、翌年25年度には空家台帳を作成。26年度には空家所有者に対し今後の維持管理等に対する意向調査を実施してきた。今後は国の支援を受けるため、空家等対策計画の作成を関係各課で連携を図り、空家の除去事業や移住定住等の空家活用事業等、検討をしていきたい。

さらに、空家政策として、実施体制の整備として協議会の組織化や役員内組織体制の確立、周辺住民からの相談体制等を検討し、必要な施策について財政上、税制上の措置も含め検討していきたい。

**再** 今にも倒れそうな家屋が見受けられる。助成制度を使って出来るのでは。危ない家屋を解消するためにも皆さんの知恵が必要。

**建設水道課長** 空家の適正管理について条例等を制度化し、計画を作った上で、関係各課で早急に取組んでいきたい。

平成24年度に実

**「JRR跡地の道路整備について」**

跡地全体計画よりも先に動線計画を作るべきでは。

国道と椴川を結ぶ接続道路として椴川1号通りの改良と陸橋の撤去、古櫃川周辺の道路新設は、南が丘歩道橋の撤去と南が丘通りと接続する道路新設は。

調査費の計上は。

**町長** インフラ整備の動線計画について議会でも再度協議を重ねる必要があると考えている。

国道228号線と町道陣屋椴川線を結ぶ接続道路、また南が丘歩道橋撤去と南が丘通りを結ぶ道路については、インフラ整備の議会協議を4月中には開催したい。

調査費の計上については、必要性も含めルートの選定や関係機関との協議の他、道路整備等の補助事業の活用も検討しながら町の財政対策においても、効果的な方策で取り進めるべく考えている。

## 「江差町職員の資質向上について」

町長 研修等の強化を図っていく

大門 和子 議員（無党派）

研修のあり方、職員の資質向上について町長の考えは。

町長 管理職研修、各階層別の研修等の強化を図っていく。

一つの課の中で課長と部下のコミュニケーションは重要であり、事務事業の目配せ、チェック機能としても有効であると認識している。適正な事務執行、挨拶の慣行、励行など職場環境を変えたいと考えている。

再 町長が今までと違う空気を庁舎内に流すことが大きな意識改革になるのでは。

副町長 チェック機能の見える化を浸透させ、新しい、リセットした役割組織に変わっていききたい。

町長 町民がお客様という感覚を持ちながら業務に当たることを徹底し、職員皆がそういう感覚になって意識が変わることを目指したい。

「町長の執行方針について（少子化対策の充実）」

子育て応援基金の目的と着地点は。若者定住対策として町有地売却に向けた制度について指針等あるのか。

9万6千円助成し、負担の軽減を図る。また不安の解消や安心して子育てできるよう相談業務の充実を図っていく。

再 子育て応援基金は4年間という計画なのか。若者定住対策は庁内で検討委員会をやるのか。通院や準備にお金がかかる。お金が無いと子どもが産めない。何か考えは。

総務財政課長 子ども子育て支援計画を実践する時に中間で検証し、それ以降またやるのか対応していきたい。

健康推進課長 妊婦の交通費助成等は道立病院の産科を守るため考えにくい。地域の中で産む取り組みを考えた。オムツの支援となった。

環境住宅課長 若者定住対策は庁内の関係課と

妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援の充実とあるが、具体策は。町長 子ども医療費助成拡大、保育料の第3子以降の無料化等に係る財源を安定的に確保するため子育て応援基金を設置したい。概ね4年間の事業費財源を確保し環境づくりを整える。

若者定住対策等に係る町有地の売却に向けた制度の進め方については27年度具体的な制度設計を検討したい。

妊娠、出産の支援について、切れ目のない支援として新たに出産後2カ年オムツ費用を最大



新年度から子ども・子育て支援新制度がスタート。保育園への入所基準が変わり預けやすくなった一方で、制度が複雑化している。町独自の切れ目のない子育て支援事業として、0歳児、1歳児のオムツ代の助成が行われることに。（写真はかもめ保育園）

連携し協議検討していく。

「町長の執行方針について（地域の魅力の向上）」

ふるさと応援寄附金について、いつやるのか。アイディア募集のチラシは定期的にも誤解を招くのでは。

町長 多くの方から寄附を頂くため様々な工夫が必要。江差ならではのユニークな商品開発も必要で町民に広くアイディアを募集している。検討委員会の意見を聞き、有効に活用していきたい。

再 4月にすぐスタートするの。政策推進課長 4月中の実施で現在関係課と鋭意取り組んでいる。チラシの件は町民の皆様からアイディアを募集したが、商品は随時追加しながら内容充実していきたい。

「教育長の執行方針について（図書館活動の推進）」

学校図書室の整備、環境づくりは大事。教育長の見解は。教育長 図書室の充実を優先と考え、学校図書室の環境整備については今後の課題である。読書や図書の重要性をなお一層認識し、充実に努めていきたい。

「教育長の執行方針について（文化財保護）」

江差町歴史文化基本構想の策定について、進め方は。中村家と旧檜山爾志郡役所の休業を2カ月とするところがあるが、更なる活用、人を呼び込む活用方法や考えはあるのか。

教育長 歴史文化基本構想は文化財を持つ本質的な価値を踏まえ保存と活用を一体に進め、地域固有の歴史文化を生かした個性ある取り組みを行う長期的なマスタープランとなる。策定委員会を設け、28年度末の完成を目指したい。文化庁の日本遺産認定登録に向けた取り組みとなる。

再 固有ある資料を体系的にどう整理していくのか。学芸員1人では整理しきれないのでは。観光と一体化した生かし方を早期に進めるべき。

社会教育課長 学芸員1名体制は非常に厳しい状況。町長部局にはしっかり伝えていく。今いる体制で優先順位を付けながら執行していく。資料は大切な財産。今後どうしていくかは歴史文化基本構想の中で議論していきたい。

資料は大切な財産。今後どうしていくかは歴史文化基本構想の中で議論していきたい。

3月定例会で町長から行政報告された内容をお知らせします。

### 1 国道227号線尾山町付近の道路保護海岸擁壁の復旧工事について

函館開発建設部江差道路事務所からボーリング調査等を実施し、復旧工法等を検討した結果、現在の海岸擁壁を現状より高くし、越波から道路を防御す

る方法で、5月連休明けを目途に工事を実施する予定と聞いている。

### 2 不適正事務の再発防止について

泊生活館管理委託業務使用料未納の件について、使用料として町に納付すべき7年間分、12件、24,810円が未納となっていた。委託管理している町内会から、過日謝罪と未納額の納付があった。

また、農業経営所得安定対策交付金の一部申請漏れについて、4戸の農家分9,839,776円の交付金が越年し、年末の資金繰りに支障をきたした。なお、農家へは支払遅延の事情説明と謝罪をしている。

今回の2つの不適正事務に共通して言えること

は、チェック機能が働いていないことにある。これを踏まえ、今回、不適正事務処理等再発防止検討委員会を設置した。特に、経理事務等金銭に絡むものについては重点的に検証していく。

今回の2件は、町職員への信頼を失う不適正な事務処理であり、町民の皆様並びに議員の皆様からお詫び申し上げる。なお、2課の関係職員6名に対し、訓告及び嚴重注意処分を科した。

### 3 JR江差線鉄道用地等の無償譲渡契約について



昨年5月11日に廃線になったJR江差線の鉄道用地等の無償譲渡については、去る3月2日付でJR北海道と無償譲渡契約を締結したので報告する。

無償譲渡の契約内容は、鉄道用地89,414.12㎡、5m未満の橋梁2橋、軌きょう3,759m等の鉄道設備一式。

なお、駅舎等の建物、5m以上の橋梁については、5月に撤去工事に関する委託協定の締結をもって引き渡し予定である。

### 4 道立江差病院の運用病床変更の延長について

北海道保健福祉部道立病院室参事が来庁し、昨年10月1日から平成27年3月31日までの期間、これまでの運用病床数190床（一般150床、精神40床）を152床（一般112床、精神40床）に変更していた内容について、看護師不足の解消が図られないことから、平

成28年3月まで1年間延長したいと説明があった。

今後の対応については、他病院との連携促進等により、運用病床の最大限の活用を図り、これまで取り組んできた看護師確保対策を一層推進し、早期に変更前の運用病床に戻せるよう取り組むとしている。

### 5 寄附採納について

1件の寄附採納があった。ご厚志に厚く御礼申し上げます。

◆平成26年12月20日「ASA江差朝日新聞専売所 所長 松崎 浩」様より、図書館の充実のためにと、図書12冊。

## 全国町村議会議長会から功労表彰

町村議会議長として7年以上在職し功労のあった打越東亜夫議長、町村議会議員として27年以上在職し功労のあった薄木晴午議員、町村議会議員として15年以上在職し功労のあった小笠原淳夫議員に対し、全国町村議会議長会から表彰されました。



3月定例会開会前に副議長から表彰状を伝達される打越議長



3月定例会開会前に議長から表彰状を伝達される薄木議員



自宅で議長から表彰状を伝達される小笠原淳夫議員



# 2億8,834万7千円を補正

平成26年度補正予算の状況

第1回定例会では、総額2億8,834万7千円の補正予算案が提案され、質疑の後、全会一致で可決しました。一般会計の補正後の予算額は53億円を越え、26年度内に実施できない事業は繰り越して27年度で実施されます。主な補正内容は下記のとおりです。

会計名	今回補正額	補正後の予算額
一般会計	2億5,229万円	53億1,684万3千円
特別会計	国民健康保険費	373万1千円
	介護保険	3,232万6千円
合計	2億8,834万7千円	73億8,972万5千円

## 《主な補正内容》

### 〔一般会計〕

※町負担分が大きい順に掲載しています。

#### ◇子育て応援基金積立

4,000万円  
(全額一般財源)

子育ての環境づくりを推進していくための事業費を確保する。

#### ◇町営住宅南が丘第2団地外壁等改修

1,208万円  
(国庫支出金他)

3年間で11棟27戸の外壁等改修を予定し実施している。国の社会資本整備総合交付金の26年度補正予算の目途がつき27年度改修計画分を前倒して実施する。

#### ◇社会福祉法人が行う利用者負担軽減事業補助

690万円  
(道支出金他)

特別養護老人ホームえさし荘が実施している低所得利用者の負担軽減対策に対し町が一定額助成をする。

#### ◇青年就農給付金事業

450万円  
(全額道支出金)

27年度事業を国の緊急経済対策として26年度で前倒して実施。対象は4人。

#### ◇介護保険特別会計繰出

404万円  
(全額一般財源)

介護保険特別会計への繰出金。

#### ◇平成25年度障害者医療費国庫負担金等返還

151万9千円

(全額一般財源)  
障害者医療費国庫負担金等の返還金。

#### ◇町内会等管理街灯助成

47万円  
(全額一般財源)

33町内会に電気料の80パーセントを助成しているが、電気料金の値上げにより助成額予算に不足が生じた。

#### ◇道路照明管理

28万円  
(全額一般財源)

町が管理している約500本の街灯について、電気料金の値上げにより予算に不足が見込まれるため。

#### ◇子ども発達支援推進

11万5千円  
(全額一般財源)

上ノ国町子ども発達支援センターの利用運営負担金が、利用回数が増により増額となった。

#### ◇図書館資料整備

10万円  
(全額その他特定財源)

昨年12月に株式会社五勝手屋本舗、代表取締役、小笠原隆様より江差町図書館図書購入のため10万円の寄付があった。

#### ◇経営所得安定対策

▲100万円  
(全額道支出金)

対象となる補助が無かったことから減額するもの。

#### ◇檜山広域行政組合負担金(消防救急デジタル無線整備)

▲1,215万円

(地方債他)  
26年度の事業完了により減額するもの。

◇国の補正予算に伴う地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地域消費喚起・生活支援型)事業  
2,850万円  
(国庫支出金他)

◇国の補正予算に伴う地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)事業  
4,760万円  
(国庫支出金他)

※これら交付金事業については15頁に詳しく記載しています。

◇江差中学校旧校舎解体  
1億1,933万6千円  
(国庫支出金他)



江差中学校の旧校舎解体事業費。27年度事業を国の補正の関係から26年度で前倒して実施。



3月10日～12日 第1回定例会 平成26年度補正予算

# 地方創生関連交付金事業 子育て応援基金積立など

## 国の補正予算に伴う地域活性化・ 地域住民生活等緊急支援交付金に係る補正を可決

### ◇ 交付金の概要

地域活性化・住民生活等緊急支援交付金は、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」として、国の平成26年度補正予算に盛り込まれたもので、次の2つがある。

#### (1) 地域消費喚起・生活支援型

地方公共団体（都道府県及び市町村）が実施する、地域における消費喚起策やこれに直接効果を有する生活支援に対し、国が支援するもの。

#### (2) 地方創生先行型

地方公共団体（都道府県及び市町村）による地方版総合戦略の早期かつ有効な策定と、これに関する優良施策の実施に対し、国が支援するもの。

地域消費喚起・生活支援型

◇ プレミアム商品券発行事業補助 1,850万円

1万3千円分の商品券を1万円で購入。5千セット発行。

◇ プレミアム住宅リフォーム商品券

発行事業補助1,000万円

5万円分の商品券を4万円で購入。千セット発行。

◇ 総合戦略策定事業 500万円

- ・ 総合戦略策定委員会の運営（産学官金労）
- ・ 各種調査、分析。

◇ 子育て世代支援事業 1,260万円

- ・ 学校給食費助成（1/3程度の助成）
- ・ 乳幼児オムツ代助成（子育て応援券発行）

地方創生先行型

◇ 観光サービス促進事業 2,100万円

- ・ 主要観光施設への無料Wi-Fi整備
- ・ 言語バリアフリー化推進
- ・ 宿泊施設誘客促進補助（サービスメニュー向上及び施設改修）



◇ 産業基盤安定化対策促進事業 700万円

- ・ 農漁業経営安定化支援
- ・ 特産品ブランド化支援

◇ 若者交流促進事業 200万円

- ・ 若者の交流促進事業に対する支援（活動拠点施設借上料、賃金、イベント開催経費）

議員から質疑しました！  
（抜粋）

Q プレミアムリフォーム商品券のスケジューリング及び概略は。

A 工事対象は長寿命化、省エネルギー、住環境の向上等。外装（張替等）、内装（壁や天井の塗装、畳表替等）工事含め多岐にわたり、利用しやすいような項目にしている。周知は4月中、販売は5月を予定。9月末までに工事完成が条件。

Q 特産品ブランド化支援について、補助先等は。

A 新たな特産品開発等を目的に、個人、法人、団体を対象に行う。一般公募をしたい。

Q 観光のWi-Fi事業について、15施設について官民の内訳、概略は。

A 15箇所の内訳は民間は3社（飲食店・観光施設等）含んでいる。機械は町で設置する。

Q 宿泊補助について、補助率、限度額は。

A 宿泊客が直接使用する箇所の修繕について2分の1補助する。工事費1千万まで。屋根や配管、厨房等は対象外となる。

## 議会の動き

2月2日

- ◆第1回臨時会（出席10名、欠席2名）
- ◆全員協議会（出席10名、欠席2名）
  - ・JR江差線廃線に伴うインフラ整備等について

◆檜山議長会

2月3日

- ◆社会文教常任委員会（出席5名、欠席1名）
  - ・養護老人ホームひのき荘に関する事務調査

2月5日

- ◆檜山管内議員研修会（今金町）（出席6名）

2月13日

- ◆総務産業常任委員会（出席4名、欠席1名）
  - ・栽培漁業に関する事務調査について

2月18日

- ◆社会文教常任委員会（現地視察）（出席5名、欠席1名）
  - ・養護老人ホームひのき荘に関する事務調査



2月25日

- ◆議会運営委員会（出席3名、欠席2名）
  - ・第1回定例会について
- ◆全員協議会（出席10名、欠席2名）
  - ・平成27年度予算概要について
  - ・地域住民生活等緊急支援のための交付金について
  - ・一部事務組合予算について
  - ・介護保険計画について
  - ・旧江光ビルについて
  - ・JR廃線インフラ整備等について
  - ・議会委員会条例等の改正について

3月3日

- ◆議会運営委員会（出席5名）
  - ・第1回定例会について

3月6日

- ◆全員協議会（出席7名、欠席5名）
  - ・役場組織機構改革について
  - ・日本で最も美しい村への登録について
  - ・江差風力発電について

3月10～12日

- ◆第1回定例会（出席11名、欠席1名）

3月12日

- ◆全員協議会（出席11名、欠席1名）
  - ・日本で最も美しい村への登録について

3月24日

- ◆第1回南部松山衛生処理組合議会定例会
- ◆第1回江差町ほか2町学校給食組合議会定例会

3月25日

- ◆第1回檜山広域行政組合議会定例会

## 全員協議会を開催しました

1月20日、2月2日、25日、3月6日、12日にそれぞれ全員協議会が行われました。その内容についてお知らせします。

1月20日

- ・適正を欠いた事務処理について

泊生活館の使用料が町に未納だったこと及び経営所得安定対策の農家への交付金の一部に支払い遅延があり町長が陳謝しました。

2月2日

- ・JR江差線廃線に伴うインフラ整備等について

江差線廃線後の駅舎跡地の活用策や南が丘歩道橋の撤去や柏町けた橋等の対応について町から説明がありました。

各議員は、調査費の予算計上や駅舎跡地の具体案等について質疑しました。

2月25日

- ・平成27年度予算概要について

新年度予算について、概要の説明がありました。

- ・地域住民生活等緊急支援のための交付金について

国の人口減少問題、地方創生に関する取り組みとして地域消費喚起・生活支援型の交付金、地方創生先行型の交付金について説明がありました。

- ・一部事務組合予算について

檜山広域行政組合、南部松山衛生処理組合、江差町ほか2町学校給食組合の平成27年度予算の概要について説明がありました。

- ・介護保険計画について

平成27年度から始まる第6期江差町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案の内容について説明がありました。

- ・旧江光ビルについて

旧江光ビルの解体にあたり、隣接建物が密着しているのが判明したため、その土地の取得等、変更点について説明がありました。

- ・JR廃線インフラ整備等について

5月中を目途に補正することについて説明がありました。

- ・議会委員会条例等の改正について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育委員長を教育長に名称変更する内容を説明。

3月6日

- ・役場組織機構改革について

新年度に実施する組織機構改革について、説明がありました。

- ・日本で最も美しい村への登録について

平成27年度に加盟を目指すことで、内容の説明がありました。道内では美瑛町等6町が加盟。

- ・江差風力発電について

JFEと江差風力発電所及び斐田工務店間で訴訟になっていることが報告されました。

3月12日

- ・日本で最も美しい村への登録について

登録の詳細について説明があり、全員協議会の中で、日本で最も美しい村へ登録申請することで確認しました。



この用紙は、原材料の一部に道産間伐材を使用しています